※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	図説　家庭基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇社会・地域と家庭生活に関心を持ち １ 年次「家庭基礎」の学びをさらに発展させ、積極的に取り組みましょう。
・生活に関する様々な現象や課題について考えます。様々な演習技法で友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の意見と考察につなげましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

・生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をさらに発展させ、それらにかかわる技能をみにつけています。
・家庭や地域・社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策と評価・改善・考察していきます。根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決力と発信力を身に着けています。
さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上と生活産業や関連する職業への関心を高め、実践しようとする意欲と態度を育てます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	〇人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭及び福祉、社会とのかかわりや衣食住・消費・環境などの基礎・基本的な知識をさらに発展させるとともに、それらにかかわる技能を身につけている。 〇演習の技法を理解し、技能を身につけている。	〇家庭や地域、社会とのかかわりにおける生活の中の諸問題から課題を設定し、その解決をめざして思考・判断と工夫を凝らした実践に取り組む。さらに実践の評価・改善・考察を多様な視点から的確に表現し、課題解決する力を身につけている。 〇演習技法に応じた思考・判断・表現を身につけている。	〇よりよい社会と生活の構築に向けて、課題解決に主体的に取り組み、地域社会に参画しようとする。さまざまな人と協働するとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図ろうとしている。 〇演習技法に応じた参加・協力する態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ学期	衣食住の生活の自立と設計	○持続可能な衣生活をつくる ・環境に配慮した衣生活 ・被服製作実習	a:・環境に配慮した衣服材料、衣服管理と整理について応用的な知識を理解できる。 ・被服の製作をとおして、基礎・基本および応用の縫製技術が身についている。 b: ・衣服管理において適切な判断ができる。 ・自己表現豊かな被服製作作品になるよう、思考・工夫できている。 c:被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・被服製作実習 ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・実習レポート ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・実習レポート
	共生社会と福祉	○社会とかかわる ○自分らしい生き方と家族 ○共に生きる ○社会の一員としての私たち	a:・支えあう社会づくりの重要性を理解できる。 ・安全で効率的な介助の基本の仕方について理解し、その技術が身についている。 b:・地域の福祉について課題を設定し、自分にできることは何かを深く考え、まとめることができる。 c: ・ワークや演習、実習などに積極的に参加しようとしている。 ・自分や家族のこと、自分たちが暮らす地域のことと結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習、実習 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習、実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート
		○子どもとかかわる ・健やかに育つ環境と支援	a:・家庭保育・集団保育の重要性を理解できる。 b:・子育ての環境や支援策・課題と子どもの福祉などについて情報を収集し、まとめることができる。 c:・自分の現在・将来と結びつけながら考え、学習しようとしている。	授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作実習 ・定期考査	授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	衣食住の生活の自立と設計	○食生活をつくる ・環境に配慮した食生活 ・献立作成と調理実習 ○住生活をつくる ・ライフステージと住まいの計画 ・持続可能な住まい	a:・現代の食生活の傾向について、基礎的な知識をもとに応用的に理解できる。 ・調理実習をとおして、基礎・基本の調理技術が身についている。 ・住まいの機能や生活様式、地域の住まい文化について応用理解ができる。 b:・健康的な食生活を送るために、何が必要か理解を深め、課題に気づき問題解決しようと考察しようとしている。 ・すべての人にとって住みやすい住環境について深く理解し、ライフステージに適した住まいの平面図や不動産情報を読み取り、意思決定や判断ができる。 c:・ワークや演習、実験・実習などに積極的に参加しようとしている。 ・自分の現在の食住各生活を振り返り、課題を見つけ改善に向けて積極的に取り組もうとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習・実験・実習 ・定期考査	・授業観察 ・演習・実験・実習の各レポート ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート
3学期	消費生活	○消費行動を考える ・経済的に自立する ・持続可能な社会をめざす取り組み	a:・家計の構成や、収入と支出の特徴を理解し、ライフステージに合わせてシュミレーションできる。 b:・生活情報を収集し、環境にも配慮した適切な消費行動を考えて判断し、意思決定できる。 ・家計の収支や消費者信用について深く考え、計画的にお金を貯める・使う判断ができる。 c: ・ワークや演習、実習などに積極的に参加しようとしている。 ・家庭生活において資源や環境に配慮した消費行動を、自分の現在・将来と結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク、演習・実習 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク、演習・実習 ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度